



建築物総合環境計画概要書 新築

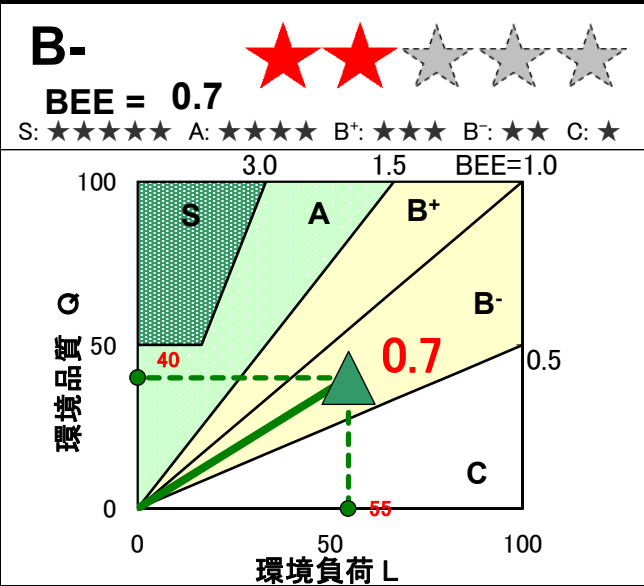
■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい (新築) ■使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要

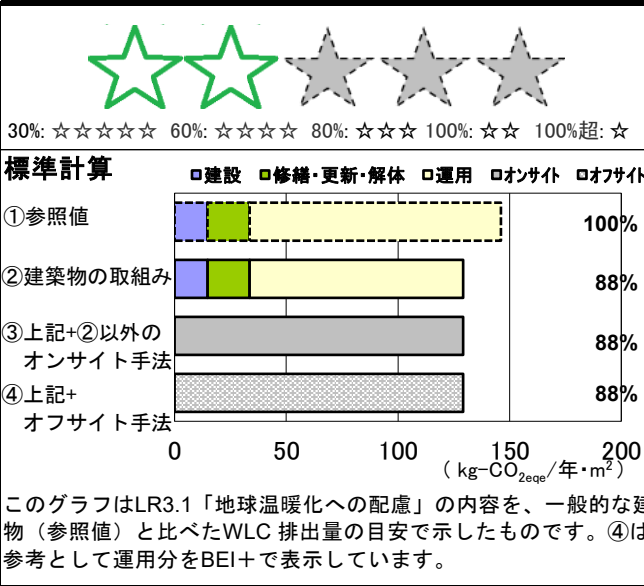
建物名称	(仮称)大阪市東住吉区矢田2丁目プロジェクト		
建設地	東住吉区矢田2丁目		
建物用途	有料老人ホーム		
建築主			
設計者			
竣工年	2027年10月	予定	
構造/階数	S造	/	地上10階
敷地面積	421.53	㎡	
建築面積	281.90	㎡	
延床面積	2718.38	㎡	

1-2 外観

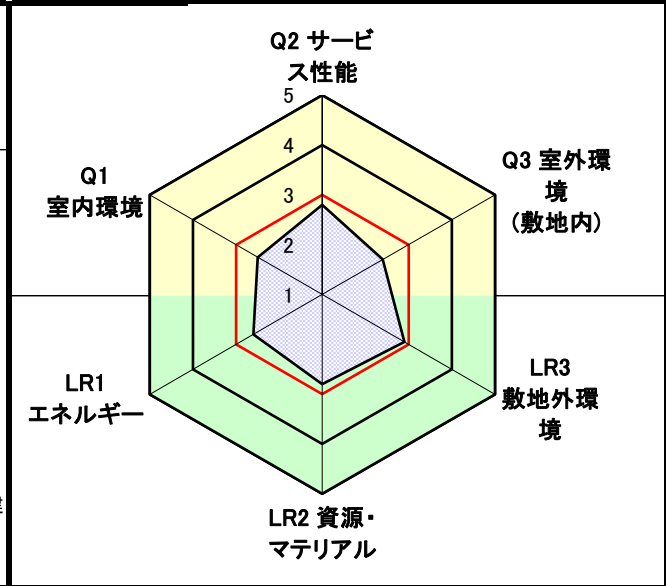
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

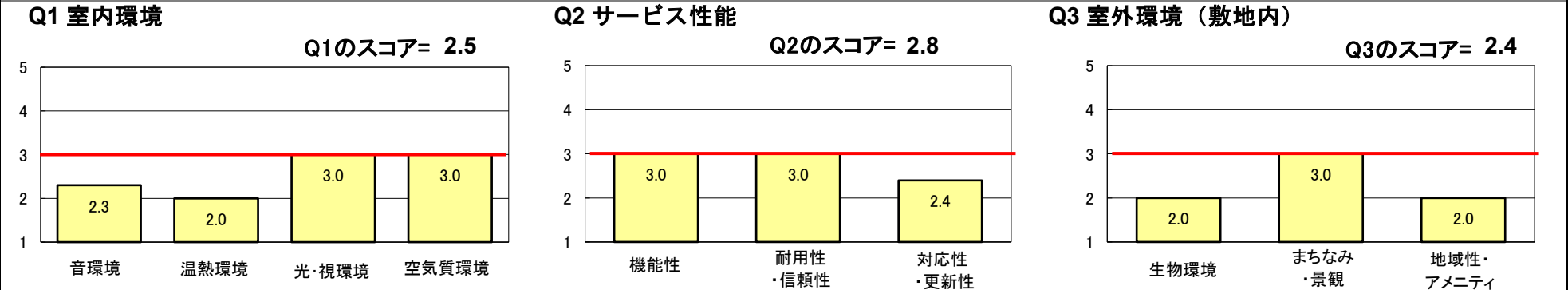


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

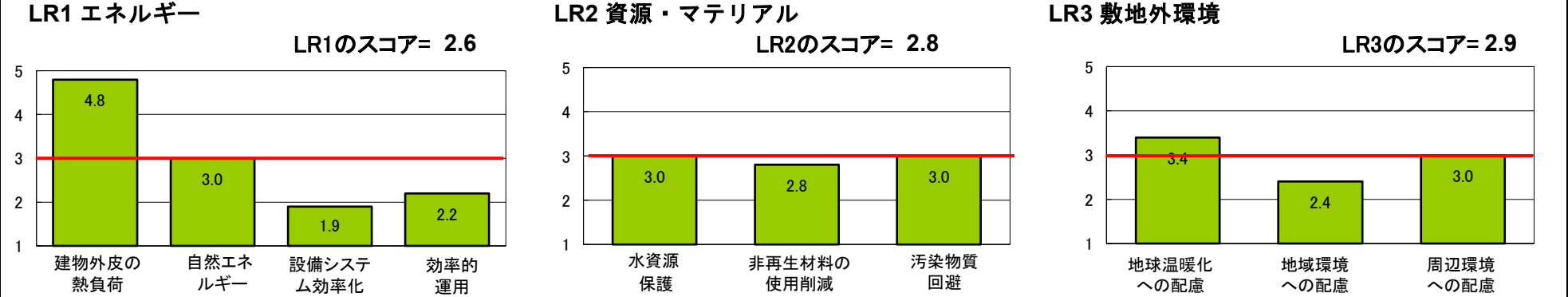


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



LR 環境負荷低減性



3 設計上の配慮事項

総合 本計画は、高性能断熱材やLED照明、節水器具の導入により高い省エネ性能を実現しています。室内環境では採光と低VOC建材に配慮し、屋外では、道路沿いに植栽を設けるとともに、雨水浸透施設を整備しました。周辺環境との調和と負荷低減を両立し、地域に貢献する環境配慮型設計としています。		その他 特になし
Q1 室内環境 自然採光を積極的に取り入れるため、開口部の配置を最適化し、昼光利用による照明負荷の低減を図っています。また、F☆☆☆☆等級の建材を採用し、良好な空気質と健康的な室内環境を確保しています。	Q2 サービス性能 維持管理のしやすさに配慮し、内装材には防汚性の高い仕上げや清掃の容易な材料を採用している。また、縦動線の利便性を高めるため、利用頻度に応じた2台のエレベーターを設置している。	Q3 室外環境 (敷地内) 道路沿いの一部に植栽を配置しています。また、ごみ置場を建物内に設けるとともに、設備機器を外部から目立ちにくい位置に配置し、敷地内の美観維持に配慮した計画としています。
LR1 エネルギー LED照明器具を採用し、照明電力消費量を従来に比べ大幅に低減する計画としている。また、高性能断熱材の組合せにより建物外皮の熱負荷を抑制し、冷暖房エネルギーの低減を図っています。	LR2 資源・マテリアル 高い節水性能を持つ衛生器具(自動水栓等)を導入し、水資源の有効利用に努めている。また、環境負荷の低減に配慮し、ノンフロンタイプの現場発泡ウレタンフォームを採用しています。資源の有効利用と地球温暖化防止の両立に努めています。	LR3 敷地外環境 周辺環境に馴染む自然な色使いの外装計画により、街並みとの調和を図っています。また、ごみ置場を建物内に配置することで、道路からの視認を抑え、周辺環境および街並みの美観維持に配慮した計画としています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4 CO2排出量削減
配慮事項	LED照明や開口部配置の最適化により、照明電力を大幅に低減しています。高性能断熱材による外皮負荷の抑制と合わせ、建物全体のCO2排出量削減を推進しています。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 緑化の整備
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0 敷地内の熱負荷の低減
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0 風の通り道の確保
配慮事項	条例基準を超える緑化と雨水浸透施設の整備により、敷地内の熱負荷を低減しています。適切な建築配置で風の通り道を確保し、周辺地域の熱環境悪化の抑制に貢献しています。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.8 建物外皮への適切な断熱材の敷設
配慮事項	高性能断熱材とノンフロン現場発泡ウレタンを採用し、極めて高い断熱性能を実現しました。建物外皮の熱負荷を徹底的に抑制し、省エネ性と室内快適性を両立させています。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		2.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	1.9
配慮事項	高効率LED照明や自動水栓等の節水器具を導入し、運用エネルギーを削減しています。設備システム全体の効率化を図り、環境負荷低減と資源の有効活用に努めています。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	- (相当)	0.82
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	-	0.85